

PLATEAU
by MLIT

PLATEAUビジョン2026 概要

- 「PLATEAUビジョン2026」では、3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化の取組「Project PLATEAU」の今後の取組方針を整理。特に、① データ整備・更新の効率化、② サービス実装の更なる推進、③ 国外への都市デジタルツイン展開の3点を重要項目として位置づけ。
- 持続的に更新される3D都市モデルがまちづくり分野及びその周辺領域における業務プロセスに組み込まれ、日常・非常時においてフェーズフリーに活用されることで、官民での様々な都市課題への対応やサービス創出を促進し、ウェルビーイングの実現に貢献する「デジタル公共財」※となることを目指す。

※ デジタル公共財:「SDGsの達成に貢献するオープンなソースソフトウェア、データ、AIモデル、標準、コンテンツ」と国連において定義されており、本ビジョンでは共同で整備すべき協調領域を指す。

今後取り組むべき重要項目

① データ整備・更新の効率化

- モデルデータの整備・更新コストの低減に向けた技術開発と仕様の見直しにより、ニーズに即したモデルの新規整備都市拡大と、既存整備都市のモデル更新サイクルの確立を図る

② サービス実装の更なる推進

- 3D都市モデルをまちづくり分野において定常的に活用するとともに、周辺領域においても課題解決のツールとして活用し、さらに、まちづくりを超えた多様な分野における利活用の拡大を図る

③ 国外への都市デジタルツイン展開

- 国外における都市デジタルツインを活用した課題解決を促進するとともに、国内の取組への海外市場における成果の還元を図る

フェーズフリーな3D都市モデルの活用イメージ

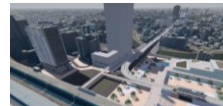
日常時(まちづくり、防災等)



人流の予測・可視化



温熱環境の分析・可視化



まちづくりの将来計画の可視化



市街地火災の延焼予測

- 人流データを活用した建物内外の混雑把握や避難方法検討
- グリーンなまちづくり
 - ・温熱環境シミュレーションによるヒートアイランド対策
 - ・風の道の検討
- 属性情報を活用した都市構造推移の評価や立地適正化計画の策定・見直し等への反映
- まちの将来像の可視化と合意形成の円滑化
- 避難訓練への活用

3D都市
モデル

非常時(災害対応)

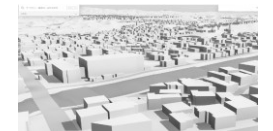
- 衛星画像等を活用した建物被害認定業務の効率化
 - ・衛星画像と3D都市モデルを活用して、被災後の建物被害を推定・分類し、被害状況を早期把握
- 避難所設置等の検討
- 復興まちづくりにおける活用
 - ・復興に当たって、被災地の復興まちづくり計画策定などに活用



被災後の建物被害を推定・可視化



避難所・物資情報の集約・管理



復興まちづくりへの活用

ビジョンにおける目標

2027年度末までに3D都市モデル整備都市500都市を目指す。これらの都市について、

- 2032年度末までに
- 3D都市モデルの更新率 ※1: **100%**
 - フェーズフリーな活用を目指す「デジタルツイン実装都市」※2 の割合: **100%**

※1 大幅な経年変化のない都市を除き、整備時の原典資料の時点が5年以上前となる都市のうち更新を実施した都市の割合

※2 複数の日常業務に3D都市モデルを活用する都市

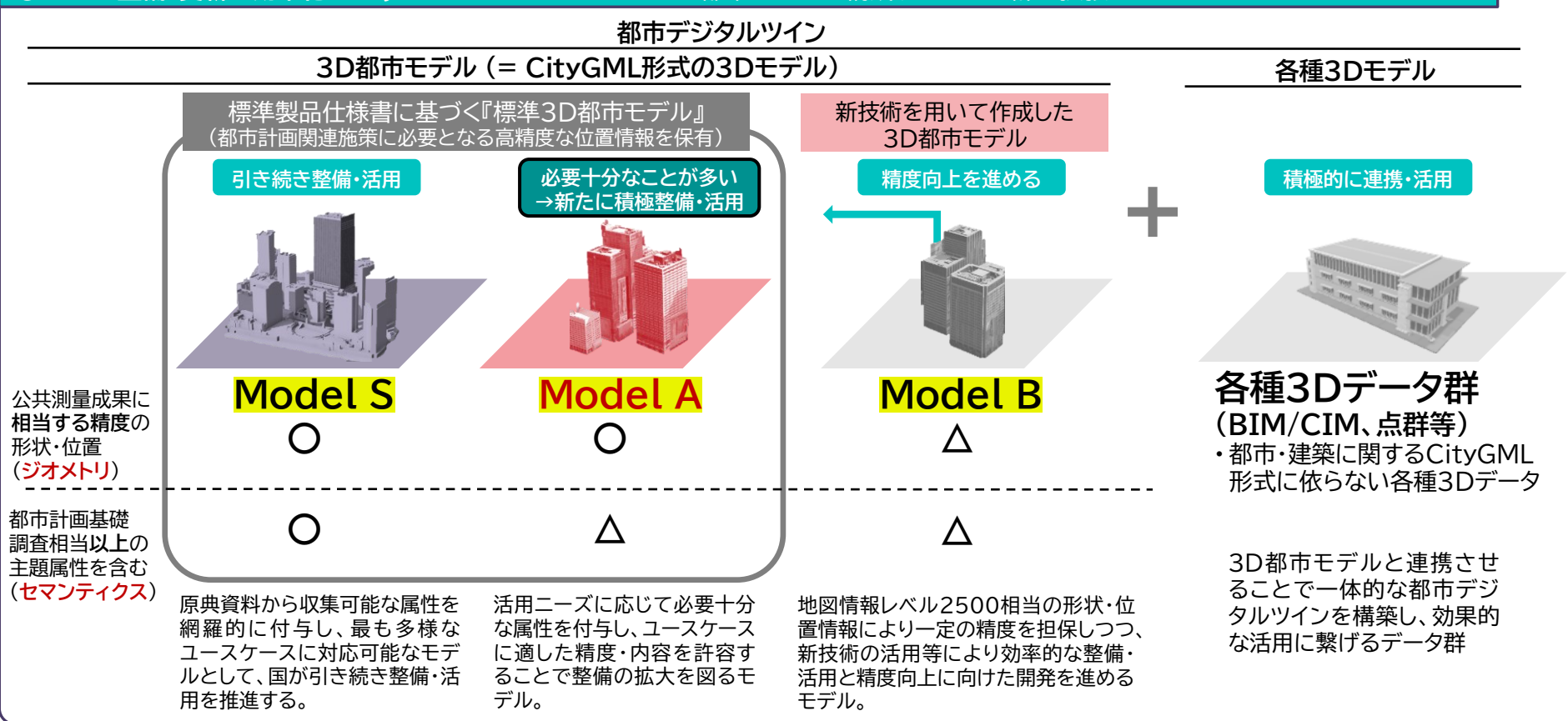


PLATEAU
by MLIT

「PLATEAUビジョン2026」におけるデータの範囲の考え方

- ❑ 3D都市モデルの活用定着に向けて、従来対象としてきた「3D都市モデル」の範囲について、属性情報が部分的に付与されたデータやAI等の新技術を用いて作成したデータも取り扱えるよう拡張した上で、3D都市モデル以外の3Dデータも含めて「都市デジタルツイン」として再整理。
- ❑ 活用ニーズに応じて最適なデータを選択できる環境を構築することで、継続的なデータの蓄積と広範な分野での日常的活用を促進するとともに、その過程で培われる新技術・知見・ノウハウを、国外の都市の多様な課題解決へ展開することを目指す。

① データ整備・更新の効率化: Project PLATEAUとしての3D都市モデルを構成するデータ群の拡張



② サービス実装の促進

多様なデータ群を適材適所で活用、平時から官民でデータ活用できる環境づくり

- ・都市計画・まちづくり実務や、手続き・管理などの行政プロセスを高度化・効率化
- ・社会課題解決に資するビジネス創発
- ・広範な利用者層に向けたさらなる価値創出

活用促進

③ 国外への都市デジタルツイン展開

- ・多様な都市環境・課題下で、国内同様に多様なニーズに応じて、都市デジタルツインを適材適所に活用
- ・国外では地理的制約を受けない衛星画像による整備がより効率的な場合も想定される